

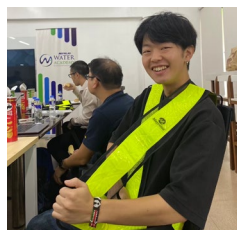
Contents Japan-Philippines YWP シンポジウム2024



9/15-17にフィリピンYWPと合同で**Japan-Philippines YWP シンポジウム 2024**を開催しました。開催にあたっては事前（9月7日）にプレシンポジウム～**Bridging Waters: Challenges and Opportunities in the Philippines and Japan Water Sector**～をオンラインで開催し、講師を招き互いの課題について深めることとしました。現地マニラで開催された本イベントでは、日本からのJapan-YWP会員9名を含め約70名が一同に会し、日本とフィリピンの**互いの「水」に関連する課題**を共有し、現在から将来の観点でその解決に向けたアイデアを、ラウンドテーブルやパネルディスカッションを通して、意見交換しました。その他、同シンポジウム期間を通じて、現地水処理プラントのテクニカルツアーや懇親会を実施しました。

～参加者の感想～

本シンポジウムでは、フィリピン及び日本の大学院生、教員、そして民間企業の専門家など、多様な分野から若手が集い、水分野の課題やベストプラクティスを共有し、課題解決に向けたアイデアを出しました。教育の重要性や新たなパートナーシップの可能性を議論する中で、両国の産学官が連携する意義を改めて実感しました。また、異なるバックグラウンドを持つ参加者との交流を通じ、多様な視点を取り入れることの重要性を深く学びました。本シンポジウムを新たな出発点とし、国境を越えたコラボレーションを積極的に探めながら、現在取り組む温室効果ガス抑制型の廃水処理システムの開発をさらに推進していきたいと思いました。



長岡技術科学大学
大学院1年
樺澤 壮太



**産業技術総合研究所
生物プロセス研究部門
三輪徹**

今回、フィリピンで開催されたYoung Water Professionals (YWP) のシンポジウムに参加し、大変貴重な経験を得ることができました。

本シンポジウムでは、フィリピンと日本の若手水分野専門家が集まり、両国が直面する水分野の課題を共有しコラボレーションの可能性を探ることを目的としていました。特に印象的だったのは、テクニカルツアーで訪れたLa Mesa Treatment PlantおよびParanaque Wastewater Treatment Plantです。それぞれの施設で、フィリピンの水資源管理の現状と課題を現地の技術者から直接学ぶことができました。改めて、このような素晴らしい機会を提供してくださった主催者の皆様に感謝申し上げます。そして、この経験が今後の研究活動や社会貢献に繋がるよう努めていきたいと思えます。



フィリピンYWP Ira Joshua Manuel



“Two things resonated with me during the symposium: (1) Overcoming age and experience prejudice within my organization can significantly impact my personal and professional growth.

Resistance should not deter me from advocating for my beliefs and desire positive change. As Engr. Angie emphasized, we should ‘Value all types of water.’ Addressing and heavily regulation the major polluters of these water bodies, primarily domestic wastes, and implementing proper sewerage management can greatly help revive our water bodies.

Close collaboration, ownership, and accountability with all relevant agencies, including DILG, DPWH, MWSS, and others, is required. Regulatory bodies must address the root cause of the problem, a basic approach to problem-solving that I find perplexing. It’s concerning that our governance bodies are not taking more effective action in this regard. I may not have a complete understanding of the situation, but clean water crisis is an urgent matter requiring immediate action plans,”



～シンポジウムを終えて～Japan-YWP副代表 渡利高大（長岡技術科学大学）

2022年7月から始まったJapan-YWPとPhilippines-YWPの国際連携は、私たちにとって非常に実りある経験となりました。オンラインを通じて両国の水問題について議論を重ねる中で、それぞれの課題や強みを共有し合い、新しい視点を得ることができました。特に、初回のオンラインイベントで行われたグループディスカッションは、互いの文化や背景を理解し合うきっかけとなり、親睦を深める大切な一歩だったと思います。

今回の訪問では、上下水処理場の見学やワークショップへの参加を通じて、オンラインだけでは得られなかった具体的な知識や現場のリアルな状況を直接体験することができました。特に、フィリピンの上下水処理施設を目の当たりにすることで、日本との技術や運営の違いを実感し、それぞれが抱える課題と解決策について深く考える契機となりました。また、ワークショップでは、両国の若手メンバーが協力し、新しいアイデアを出し合う姿が印象的でした。国を超えた若手の熱意と知識の交流は、今後の水問題解決に向けた持続可能な協力関係の基盤を築くものと確信しています。今回の経験を通じて、オンラインだけでなく、現地での直接の交流がもたらす重要性を改めて実感しました。この連携をさらに深め、両国の水問題解決に向けて具体的な成果を出していくためにも、今後もこのような機会を大切にしていきたいと思います。Japan-YWPとPhilippines-YWPの絆がさらに強まり、持続可能な未来を共に築いていけることを心から期待したいと思います。



本シンポジウムの開催にあたって、いであ株式会社および日本水環境学会よりご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

Contents お仕事セミナーを中央大学で開催

10/5（土）に中央大学後楽園キャンパスを会場としてお仕事セミナーを開催しました！

お仕事セミナーは、多くの学生に水業界へ興味を持ってもらうことを目的として、2014年から継続的に開催している学生と社会人の交流イベントです。2023年2月以来の開催となった今回は現地開催とオンラインを併用し、現地参加8名、オンライン10名（いずれも参加登録数）の学生の方にご参加いただきました。また、社会人ゲストとしてYWP運営メンバーに加え、3名の社会人の方にご協力いただきました。

当日は第1部として野村代表からJapan-YWPについて説明した後、第2部はラウンドテーブル方式により社会人と学生の違いや水業界の面白さといったテーマで自由に意見を交換しました。ラウンドテーブルでは学術、官公庁、コンサル、メーカーの4セクターに分かれ、学生の方にテーブルを回ってもらう形式で交流し、各セクターの特徴等も含め活発に質問が飛び交いました。終了後は現地参加いただいた方を対象に懇親会を開催し、学生と社会人の垣根なく盛り上がりしました。

参加いただいた学生の方からは、「水業界全体の雰囲気や各分野の特徴を知ることができた」「4つの分野で活躍している水分野の専門家から話を聞くことができてよかった」「今後の進路決定に重要な時間を過ごすことができた」といったコメントを頂きました。

来年以降も、学生の方が水業界で働く様々なセクターの社会人と交流できる機会として、業界の全体像と魅力を伝えていけるよう、運営の改善を図りつつ引き続き開催できればと思っています。多くの学生の方のご参加をお待ちしております！



News 第59回日本水環境学会年会併設 Japan-YWPセミナー 「若手で考える上下水道の防災と災害復興」のお知らせ

Japan-YWPでは、第59回日本水環境学会年会に合わせてセミナーを開催します。今回のセミナーでは、令和6年1月に発生した能登半島地震および9月に発生した豪雨からの復興に携わっている若手職員をゲスト講師としてお呼びし、話題提供をいただいた後、参加者の方でも交えて上下水道の防災と災害復興について議論を行います。

主催： Japan-YWP
期日： 2025年3月17日(月)17:00～18:00
場所： 対面方式およびZoomを用いたWeb会議システムにて開催
プログラム： 詳細や後日発表予定
参加申込み： 現地参加の場合は申込み不要
オンライン参加の申込み方法は後日HPに記載予定
参加申込み締切： 2025年3月14日(金)
参加費： 無料
※水環境学会年会に参加される場合は別途参加費が必要です
問合せ先： Japan-YWP 運営委員 渡利高大（長岡技術科学大学）
Tel： 0258-47-9642
E-mail： watari@vos.nagaokaut.ac.jp



※水環境学会年会は3月17日(月)～19日(水)に開催されますので是非ご参加ください。

Japan-YWPは、随時会員募集中！

会員要件は、大学・研究機関、官公庁、下水道・下水道事業体、民間企業などに所属する水関係の若手・学生（原則35歳以下）とし、専門内容やIWA会員であることの有無は問いません。また、年会費等は不要です。会員登録されますと各イベントの情報をメールで受け取ることができます。入会手続きはメールまたはWebサイトから行えます。



メールから

入会希望の方は

- ①所属
- ②氏名
- ③生年月日
- ④E-mailアドレス
- ⑤専門分野

を明記の上、以下のアドレスまで
お気軽に申し込み下さい。

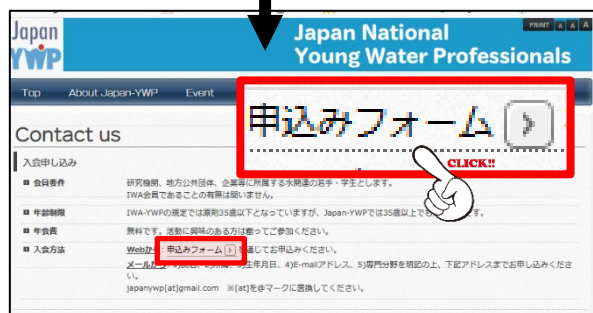
japanypw@gmail.com



Webサイトから（右図参照→）

Japan-YWP Webサイトの入会フォームからも入会手続きが可能です。

トップページの「Japan-YWPへの入会はこちら」より入会フォームへお進みください。



右のQRコードからJapan-YWP Webサイトへ！
(<http://www.japan-ywp.site>)



Japan National Young Water Professionals Newsletter Vol. 22

発行：2025年1月

発行者：Japan National Young Water Professionals
(代表：野村洋平)

ホームページ：<http://www.japan-ywp.site>